

JForest 栗駒高原森林組合だより

やまびこ

第 26 号

平成 26 年 12 月 1 日

発行・編集

栗駒高原森林組合

栗駒桜田街道西11の96

TEL (0228) 45-3311

FAX (0228) 45-3312



宮城県森林施業プランナー育成研修 P 4

目 次

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ◇森林組合の役割…………… 2 | ◇樹木の豆知識シリーズ⑩…………… 5 |
| ◇全国森林組合代表者大会…………… 2 | ◇木材市況〔10月〕…………… 5 |
| ◇労働安全全体会議…………… 3 | ◇栗駒高原森林組合運営機構図…………… 6 |
| ◇森林・林業・環境機械展示実演会…………… 3 | (株栗駒高原開発センター運営機構図)… 6 |
| ◇宮城県森林施業プランナー育成研修… 4 | ◇係より…………… 6 |
| ◇第27回優良みやぎ材展示即売会…………… 4 | |

森林組合の役割



代表理事組合長
佐藤 則明

森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源の涵養、二酸化炭素の吸収等極めて多くの多面的機能を有しています。

その森林を守り育てる仕事をしているのが、我々が携わっている林業です。その誇りを持って日々活動しております。

栗駒高原森林組合は、組合員所有の山林を中心に、植付、下刈、間伐、木材生産等を行っております。しかし、今その生産費用に比べ木材価格は下回り、組合員の意欲が低下しております。このままでは組合員の山林は守れず、国土が荒廃しかねません。

これらを解消するための一つとして、栗駒高原森林組合では平成二四年度からスタートした「森林経営計画」に取り組んでおります

一定規模のまとまり(一団地三十ha

以上)を持った森林を計画の対象とし、隣接する所有者の森林を面的に取りまとめて団地化(集約化)し、施業の共同化や路網整備、森林の保護等に関する5年の計画を作成し、市長の認定を受ける制度です。共同化を図りながら低コスト生産と森林整備を進めています。森林経営計画は森林所有者と組合が共同で計画を立てます。これに取り組む者を限定して直接支援が受けられません。当組合では毎年約二百haの計画を進めています。この計画を立てられる森林施業プランナーを積極的に育成し、組合員の経済的、社会的地位の向上並びに森林の保続培養を図っていきます。木材価格は昭和五十五年をピークに下がり続け、今は当時の十分の一程度になっていきます。もはや元に戻る条件は考えにくいのが現状であります。現実を受け止めながら丸太の直接販売に努め、良質材だけでなく小径木についても積極的に販売し、安定供給、安定価格によって組合員の経営に寄与できますように最善を尽くしてまいります。厳しい状況ではありますが、森林は国の宝です。組合員の皆様と共に森林を守り育て、信頼関係を築いていきたいと思っておりますので、御支援を宜しくお願い致します。

全国森林組合代表者大会

平成二六年十一月十三日 東京砂防会館

去る十一月十三日東京砂防会館において全国森林組合代表者大会が開催されました。開催に先立ち功労者表彰が行われ、作業班員の菊地正志氏と高橋義竹氏が受賞されました。

今大会では「ウッドファースト社会の実現に向けた行動宣言」を踏まえ、各地方で活動展開すること宣言し、「林業の成長産業化の実現、森林吸収源対策等に必要な安定財源の確保、森林整備加速化事業の延長、再造林による森林資源循環システムの構築、森林保険制度の円滑実施、震災復興と東電原発事故による林業被害対策、T P P交渉における合板・製材等関税維持、ウッドファースト社会の実現を通じた日本林業の活性化」以上8項目を決議し大会を終了しました。

尚、大会開催前に県内の組合代表者により林野庁長官、県選出国會議員に表敬訪問し、「平成二十七年産林業施策・予算に関する要望書」を提出してまいりました。



労働安全全体会議

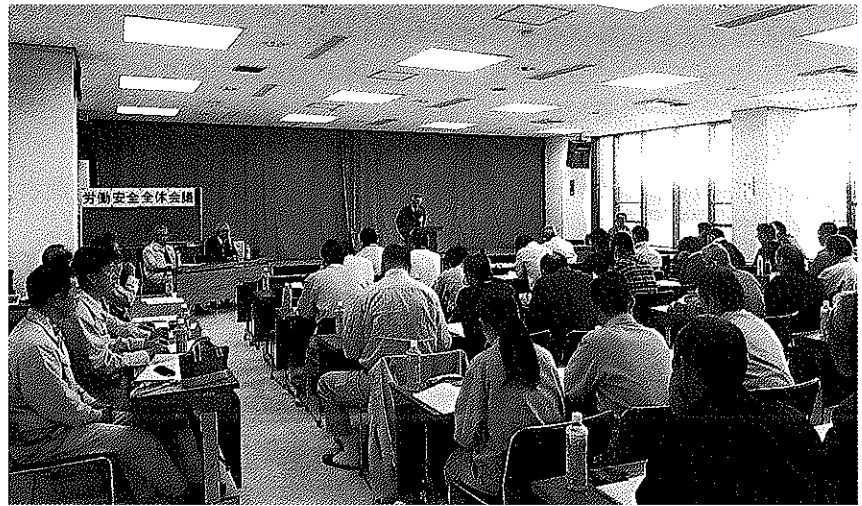
平成26年度第2回労働安全全体会議を、11月10日栗っこ農協栗駒農業団地センターにおいて、栗駒高原森林組合と(株)栗駒高原開発センター職員・作業班員82名が出席し開催しました。

総括安全衛生管理者及び安全管理者より「労働災害発生状況」と「年末・年始無災害運動」の説明がありました。その後、林業・木材製造業労働災害防止協会宮城県支部の講師のもと「伐木等の業務従事者特別教育」が行われました。この特別教育は、日頃チェーンソーを用いて行う伐木等の業務に係る従事者は5年に一度安全教育が必要なことから、チェーンソーの特徴と保守管理、伐木作業等の特徴と作業の安全、健康管理、災害事例及び関係法令について6時間に亘り受講いたしました。

今年度の林業労働死亡災害は10月7日現在、全国で31件発生し昨年同期より5件多く、宮城県内でも1月に伐倒時のかかり木により死亡災害が発生しています。

また、死亡災害発生時の作業は、伐倒、集材、運材作業が大部分を占めています。

このような状況を踏まえ、今回の労働安全全体会議では一人一人が常に安全意識を持ち、基本動作でゼロ災害を目指し「明るい職場・明るい家庭」を築き上げていくよう再確認しました。



2014 森林・林業・環境機械展示実演会

10月12・13日にかけて第38回全国育樹祭記念行事として林業機械化協会と山形県の共催で開催されました。

この展示会は、国の委託または補助を受けて開発した機械及びメーカーが独自に開発した機械並びに海外から輸入された機械で、高性能林業機械、チェーンソー、刈払機、森林バイオマスの有効活用や環境保全に資する機械を展示・実演し、安全使用と普及の推進を図ることを目的として開催されました。

組合では、宮城北部流域森林・林業活性化センター、組合青年部と合同による総勢26名参加で視察研修を行いました。屋外で実施するため現場さながらの実演を見ることが出来るのが大きな特徴でした。現在保有している高性能林業機械も更新時期に入り逐次更新を行っているなか、次世代型高性能林業機械の選択の参考になり大いに役立った実演会でした。



2014 森林・林業・環境機械展示実演会

主催：山形県・一般社団法人 林業機械化協会

宮城県森林施業プランナー育成研修

11月14日、花山字草木沢荒谷裏地内で宮城県主催による宮城県森林施業プランナー育成研修会が開催され、宮城県職員をはじめ栗原市職員、栗駒高原森林組合職員・作業班員の24名が参加しました。

この育成研修の目的は、持続的な森林経営の推進に向け森林所有者に対して、森林経営計画の作成を通じて低コストで収益性の高い施業提案やその実行を確保するための中核となる人材を育成するものです。

今回の育成研修は、低コストに関連した「森林作業道の路線選定と壊れにくい道づくり」がテーマで、日頃森林作業道開設に携わっている宮城県森林組合連合会の総括班長中鉢指導員から、森林作業道の路線、選定の方法、計画線形の適否、留意すべき地形、工作物等について説明がありました。

現地では、作業道の計画線形についてスギ55年生の間伐作業地をこまめに踏査し、壊れにくい丈夫な作業道を開設するための計画線形や留意すべき地形・土質等を丁寧に指導して頂きました。また、難作業であるヘアピンカーブ設置についても、カーブ曲線の設定の指導を受け、実際に研修生でポールと測尺テープでR=8のカーブ曲線を設置しました。研修生は昨年に引き続き2回目のカーブ曲線の設置となり手際よく出来ていました。

次回の宮城県プランナー育成研修は、12月下旬に岩手県森林組合連合会より講師を派遣して頂き、森林経営計画の作成について研修します。



◆ 第27回優良みやぎ材展示即売会 ◆

平成26年11月13日(木)／宮城県森林組合連合会 大衡総合センター

記念市の入札に先立ち記念式典がおこなわれ、来賓の宮城県農林水産部長・東北管理局長の祝辞の後、出品材の入賞者の表彰がありました。出品点数は「単木の部」16点、「樅積の部」16点の計32点、樹種はスギでした。

審査は節や割れ、完満度等の材質や切り口面等の造材技術、キズ、汚れ等の生産技術について実施され、当組合では出品材はありませんでしたが、「単木の部」では材の品質が優れ、造材、材全般の取扱いが高く評価され、「樅積の部」ではそれに加えて品質等のまとまりが評価され、宮城県知事賞にはそれぞれ大崎市の森林所有者の方が受賞されました。

尚、当日の出品量は1,881m³、販売量1,779m³、販売率94%、平均価格15,508円(石当り4,307円)でした。



樹木の豆知識シリーズ⑱

「モミ」ってなあに？

◎「モミ」ってどんな木？

「モミ」はマツ科の常緑高木。日本に自生するモミ属で最も葉が大きくて硬い。北は秋田から南は屋久島までの低山から深山まで分布している。大きいものは高さ40メートルに達するものもある。

名称：モミ(縦) 学名：Abies firma

◎名前の由来

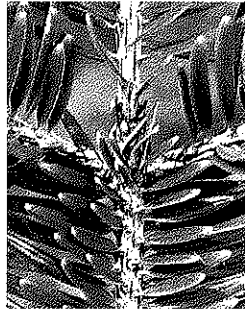
モミの名の由来は、風にもみ合うところから「揉む」を語源とする説、萌芽が美しいからという説、神聖な木で信仰の対象となっていることから「臣木(おみのき)」とする説等いくつかあります。

◎クリスマスツリーでお馴染み

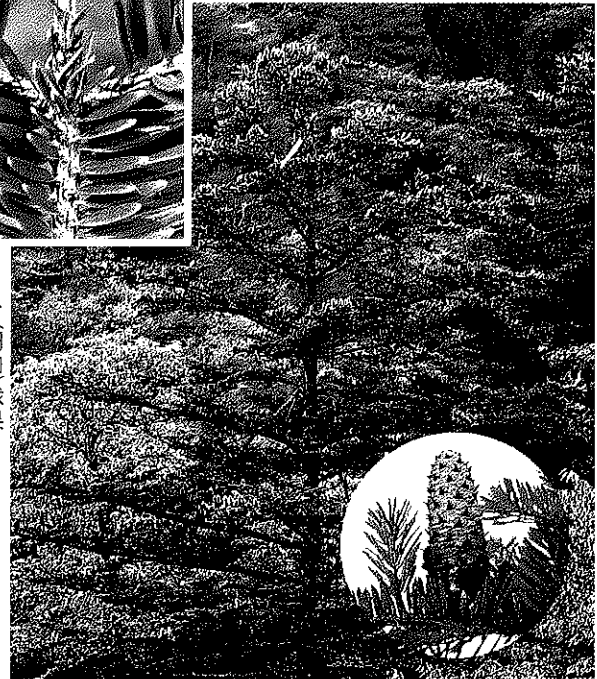
「モミの木」と言えばクリスマスツリーをイメージする方が多いと思います。日本でツリーに使われているモミの木は「ウラシロモミ」と呼ばれる種類で「モミ」とは違います。葉の裏が白色で綺麗なこと、表は光沢がある鮮やかな緑色であること、美しい円錐型の樹形になることなどから、クリスマスツリーとして好まれて使われるようです。

◎モミの木受難の時代？

モミの木はデリケートで大気汚染や煙、暑さに弱い樹種です。山地ではシカに樹皮をかじられて赤く立ち枯れているモミの木も目立つようになりました。



◀モミの葉は基部が狭く、葉痕はまるい。若枝は淡黄緑色で灰黒褐色の毛がある



▶内球果の苞鱗は種鱗の間から尾状につきでる

= 木材市況 [10月] =

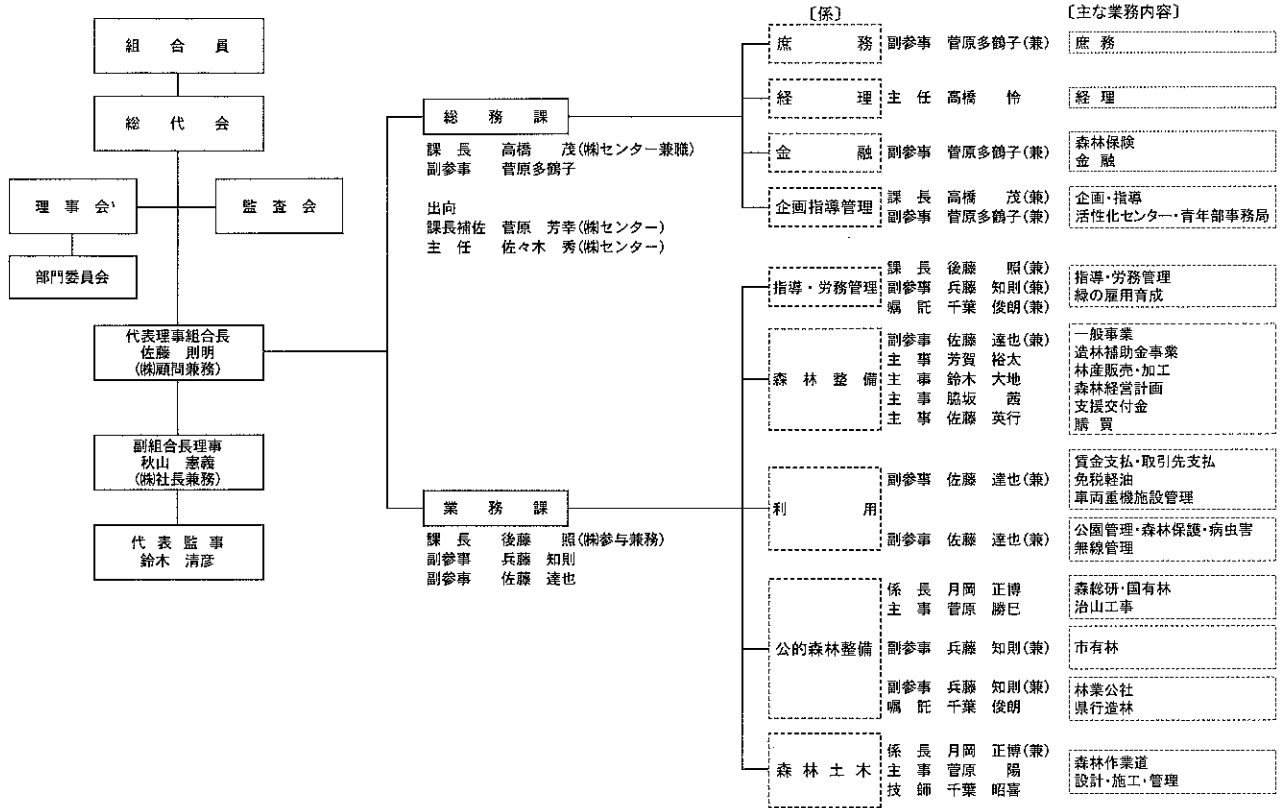
価格：1m³当たりの単価

樹種	材長	径級	高値	中値	安値	比	備考
仙北	スギ	3.00	14~16	—	—	—	市日 21日
		4.00	10~13直曲	11,880	10,800	2,880	△
	14~18		11,880	10,800	7,200	△	販売量 450m ³
	20~28		11,520	10,800	8,500	△	販売率 100%
	30上	11,880	11,520	8,500	△	販売額 4,369千円	
2.00	14上	7,200	6,120	2,880	—	平均額 9,709円	
大衡	スギ	3.00	14~16	10,800	9,720	2,880	市日 14日
		4.00	10~13直曲	11,520	10,800	2,880	△
	14~18		11,520	10,800	7,200	△	販売量 371m ³
	20~28		11,520	10,800	8,500	△	販売率 72%
	30上	11,880	10,800	8,500	△	販売額 3,195千円	
2.00	14上	7,200	6,120	2,880	—	平均額 8,612円	

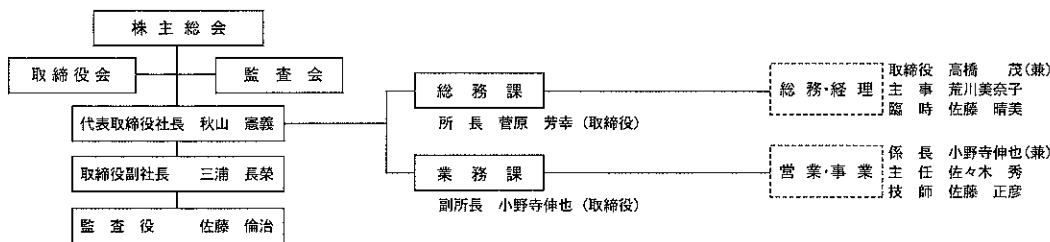
《△：上げ —：保合 ▽：下げ》※安値は曲材の価格です。

概況：各センターへの入荷は先月同様少なく材不足となっている。原木価格は前半は横這いで推移していたが、後半は小丸太を中心に値上り傾向になり12,000円/m³を上回ってきた。今後、虫害等の被害もなくなり、各製材所は在庫の確保も含めた仕入に入ることから年内は横這いから値上り傾向での動きになると思われる。

栗駒高原森林組合運営機構図 《平成26年8月1日》



(株)栗駒高原開発センター運営機構図 《平成26年8月1日》



係より
組合員のみなさんへ

相続加入手続きについて
 組合員が死亡した場合、届出が必要になりますので、相続加入手続きをお願いいたします。

承継加入手続きについて
 組合員が後継者に山林を贈与した場合、届出が必要になります。

住所変更について
 組合員が住所を変更した場合、届出が必要になります。

◎お問い合わせ先 総務課

森林国営保険に加入しませんか。
 森林は財産・苦勞の蓄積、いつ来るかもしれない「その時」のために備えましょう。
 火災、気象災(風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害)のほか噴火災の8つの災害から森林国営保険が守ります。